

令和8年度 専攻科学生募集要項 入学案内

推 薦 社会人特別選抜	出願期間	令和7年4月30日(水)～5月2日(金)
	面接試験日	令和7年5月17日(土)
	合格者発表	令和7年5月23日(金) 午前10時
学 力	出願期間	令和7年6月3日(火)～6月6日(金)
	試験日	令和6年6月21日(土)
	合格者発表	令和7年6月27日(金) 午前10時



NIT, Suzuka College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739 (学生入試係)

FAX 059-368-1738

<https://www.suzuka-ct.ac.jp>

目 次

令和8年度専攻科学生募集要項

1	鈴鹿工業高等専門学校専攻科について	1
	(1) 専攻科の設置及び改組	
	(2) 専攻科の教育方針	
2	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
	(1) 求める志願者像	
	(2) 入学者選抜方針	
3	専攻の入学定員及びコース等説明	2
	(1) 入学定員	
	(2) コース説明	
	(3) 先端融合テクノロジー連携教育プログラム	
	(4) グローバルエンジニアプログラム	
4	修業年限	3
5	募集人員	3
6	選抜の方法	3
7	推薦による選抜	3
	(1) 出願資格	
	(2) 入学願書受付	
	(3) 出願手続	
	(4) 選抜の実施方法	
	(5) 面接試験日時及び場所	
	(6) 合格者の発表	
	(7) 入学確約書の提出	
	(8) 「推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い	
	(9) 入学手続	
	(10) その他の注意事項	
8	社会人特別選抜	6
	(1) 出願資格	
	(2) 入学願書受付	
	(3) 出願手続	
	(4) 選抜の実施方法	
	(5) 面接試験日時及び場所	
	(6) 合格者の発表	
	(7) 入学確約書の提出	
	(8) 「社会人特別選抜」に合格しなかった者の取扱い	
	(9) 入学手続	
	(10) その他の注意事項	

9	学力試験による選抜	9
	(1) 出願資格	
	(2) 入学願書受付	
	(3) 出願手続	
	(4) 選抜の実施方法	
	(5) 試験日時及び場所	
	(6) 合格者の発表	
	(7) 入学確約書の提出	
	(8) 入学手続	
	(9) その他の注意事項	
10	追試験の実施について	12
	(1) 受験資格	
	(2) 推薦による選抜及び社会人特別選抜における追試験	
	(3) 学力試験による選抜における追試験	
11	先端融合テクノロジー連携教育プログラムの募集について	13
12	学位の取得について	13
13	個人情報の取扱いについて	14
14	入試情報の提供について	14
15	入学者選抜に関する合理的配慮の提供について	14
16	その他	15

専攻科入学案内

1	教育課程	16
2	学士の学位の取得	18
3	入学時に必要な経費（予定額）	18
4	入学料・授業料の免除（高等教育の修学支援新制度）	18
5	奨学金制度	18
6	修了後の進路実績	19

令和8年度専攻科学生募集要項

1 鈴鹿工業高等専門学校専攻科について

(1) 専攻科の設置及び改組

高等専門学校制度は、工業技術の発展を支える実践的技術者の養成を目指す高等教育機関として昭和37年に創設されました。平成3年7月「学校教育法の一部を改正する法律」に基づき、主として高等専門学校を卒業した方を対象に、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力、創造力をもった実践的技術者を育成するとともに、社会人技術者を対象にリフレッシュ教育を行うことをも目的として専攻科制度が創設されました。本校専攻科は、平成5年4月に電子機械工学専攻及び応用物質工学専攻の2専攻で編成され設置されました。

平成29年4月、専攻科の高度化を図るため、異分野の融合・複合化により境界領域的な新分野に対し、各専門分野で培った高い技術を発展させるとともに、次世代の新技术を創成できる広い視野と幅広い知識を有した創造的実践的技術者を育成するため、1専攻（総合イノベーション工学専攻）3コース（環境・資源コース、エネルギー・機能創成コース、ロボットテクノロジーコース）に改組しました。

(2) 専攻科の教育方針

科学技術の高度化と国際化の進展により、技術者教育を担う高等専門学校には、新たな展開が求められています。技術の高度化・融合化を踏まえ、高度な専門技術・研究開発能力と共に多分野の幅広い基礎技術をあわせもち、さらに、優れた倫理観、グローバル観を身につけた技術者の輩出が強く望まれています。このため、グローバルエンジニアプログラムを設置し、グローバルに通用する高度な技術を持ち、リーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。

そこで、本校専攻科では、次のような教育方針に基づき、科学技術の分野でグローバルに活躍できる実践的技術者の育成をめざしています。

- ① 幅広い基礎技術と高度な専門知識を有し、広い視野から社会の変化に的確に対応できる技術者の育成
- ② 新しい価値を創造する力を備え、研究開発能力、課題探求能力を有し、社会に貢献できる意欲的な技術者の育成
- ③ 社会に対する責任を自覚でき、優れた倫理観をもった技術者の育成
- ④ 日本語及び英語によるコミュニケーション能力をもった技術者の育成

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 求める志願者像

- (1) 科学技術の発展に寄与する意欲のある人
- (2) 自らの向上をめざして継続的に自己学習を行う意欲・適性のある人
- (3) 論理的に物事を考える適性を持つ人
- (4) 豊かな想像力を持ち、何事にも積極的に挑戦する意欲・適性のある人
- (5) 広い視野を持ち、将来、国際社会で活躍する意欲・適性のある人

(2) 入学者選抜方針

本校専攻科では、科学技術の分野でグローバルに活躍できる実践的技術者の育成を目的とし、専攻科修了時にこの目的を達成できる高い可能性をもつ学生の選抜を基本とします。

このため、学校長等の推薦による選抜及び社会人特別選抜においては、科学技術の発展や国際社会への貢献に向けて継続的に学習しようとする意欲、論理的思考能力などの適性、専門分野に関する基礎知識などを、推薦書（社会人特別選抜の場合は業績調書）及び調査書の内容と面接試験により総合評価します。

学力選抜においては、グローバルに活躍できる実践的技術者となるために必要な基礎的知識をTOEIC (Test of English for International Communication : TOEIC IPを含む) またはTOEFL (Test of English as a Foreign Language) iBT のスコアと数学の筆記試験により評価し、調査書の内容による意欲、適性、人物及び専門基礎知識の評価と併せて総合評価します。

3 専攻の入学定員及びコース等説明

(1) 入学定員

総合イノベーション工学専攻	24名
環境・資源コース	
エネルギー・機能創成コース	
ロボットテクノロジーコース	

(2) コース説明

環境・資源コース

地球温暖化や酸性雨に代表される環境問題、自然環境破壊抑制のための環境保全、バイオマス・鉱物・水・生物・海洋等各種天然資源の有効利用、環境調和型資源リサイクルによる循環型社会の構築等を行うために、機械、電気・電子、情報・通信、生物、化学、材料等の幅広い分野の中から複数の分野を融合・複合させた分野横断的教育プログラムで達成される能力を身につけた創造的実践的技術者を育成します。

エネルギー・機能創成コース

次世代の新エネルギー開発、その安定供給、輸送や利用における効率化や関連機能材料等に関わる技術開発を行うために、機械、電気・電子、情報・通信、生物、化学、材料等の幅広い分野の中から複数の分野を融合・複合させた分野横断的教育プログラムで達成される能力を身につけた創造的実践的技術者を育成します。

ロボットテクノロジーコース

自身の専門分野を軸としてロボットを構成する技術を高度化し、イノベーションの創出や革新的な応用技術を社会に還元するために、機械、電気・電子、情報・通信、生物、化学、材料等の幅広い分野の中から複数の分野を融合・複合させた分野横断的教育プログラムで達成される能力を身につけた創造的実践的技

術者を育成します。

(3) 先端融合テクノロジー連携教育プログラム

本プログラムは、本校と豊橋技術科学大学が互いの強みをもつ教育資源を有効活用しつつ、地域等の社会で活躍することができる分野横断型の実践的技術者を育成することを目的とし、連携・協力して実施するものです。本プログラム履修者は、本校専攻科と豊橋技術科学大学の双方に在籍し、それぞれの課程を修了することにより、本校専攻科の修了証書と豊橋技術科学大学の卒業証書(学士の学位記)が授与されます。

出願にあたっては、「11 先端融合テクノロジー連携教育プログラムの募集について」をご覧ください。

(4) グローバルエンジニアプログラム

グローバルエンジニアとして求められている英語力, 交渉力, 企画力, 実行力, 経営力, マネージメント力, さらに専門分野の異なる学生が共に課題に取り組むことで順応力および強靭さ, 優れた人間力を涵養します。専攻科修了時において、「英語表現論」, 「グローバル・リーダー論」, 「国際関係論」, 「国際インターンシップ」の単位を修得し, TOEIC スコア 650 以上であれば, 本プログラムを修了できます。

4 修業年限

2年

5 募集人員

総合イノベーション工学専攻 24名

6 選抜の方法

入学者の選抜は、次のとおり行います。

選 抜 区 分	選 抜 期 日
推薦による選抜	令和7年5月17日(土)
社会人特別選抜	
学力試験による選抜	令和7年6月21日(土)

7 推薦による選抜

(1) 出願資格

令和8年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、本校以外の高等専門学校在籍者にあつては学校長が、本校在籍者にあつては学科長が学業、人物ともに優れていると認め推薦する者

(2) 入学願書受付

期 間	令和7年4月30日（水）から5月2日（金）まで。 郵送の場合も5月2日（金）午後4時30分必着とします。
受付時間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

(3) 出願手続

①検定料の振込（振込期間：令和7年4月23日（水）～5月2日（金））

出願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください（現金自動預払機（ATM）による振込は不可）。ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

振込後、次の出願書類を願書受付期間中に持参又は郵送してください。

②出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の様式（推薦選抜用）に必要事項を記入してください。
写 真 票	写真票に貼る写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景のものとしします。（縦4cm×横3cm）
受 験 票	受験票（推薦選抜用）の氏名欄は必ず自署してください。
調 査 書 1 （成績証明書）	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成したもの。 成績証明書を添付すること。
調 査 書 2	本校所定の様式を使用し、志願者が作成したもの。
推 薦 書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成したもの。 ただし、鈴鹿工業高等専門学校を卒業見込みの者は、在籍学科長が作成したもの。
TOEIC（または TOEFL iBT） スコアの原本	出願2年以内に受験した、TOEIC公開テスト結果（Official Score Certificate）又はTOEIC IPテスト結果（Score Report）、TOEFL iBT公式スコアレポート（Official Score Report）の原本。 原本は、受験票送付の際に返還します。
受験票送付用封筒 （長3封筒）	志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、760円（速達・簡易書留郵便料を含む）切手を貼ったもの。 （願書を直接持参する場合は不要です）
そ の 他	日本国籍を有しない者は、市区町村長発行の外国人登録証明書（在留資格が明示されたもの）又は在留カードの写し（表・裏）を提出してください。

【出願上の注意事項】

ア 出願書類を郵送する場合は、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、「書留郵便」又は「簡易書留郵便」で出願期間内に必着するよう手続きを行ってください。

イ 出願書類に記入漏れ等の不備がある場合は受理しません。

- ウ 書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- エ TOEIC（または TOEFL iBT）スコアを除く受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- オ 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返金できません。
- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複して納付した場合
- 上記に該当する場合は、速やかに本校学生課入試係へ連絡願います。
- カ 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

（４）選抜の実施方法

入学者の選抜は、在籍学校長等からの推薦書と調査書の審査、面接試験の結果を総合して行います。アドミッション・ポリシーに則り、適正、意欲、人物及び専門基礎知識の観点から、書類の審査を120点満点、面接の結果を80点満点、合わせて200点満点で評価します。

（５）面接試験日時及び場所

- ① 日 時 令和7年5月17日（土）指定された時間
- ② 場 所 鈴鹿工業高等専門学校

（６）合格者の発表

令和7年5月23日（金）午前10時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載するとともに、同日、合格者あてに合格通知書を発送します。

（本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。）

ウェブページアドレス [https:// www.suzuka-ct. ac. jp](https://www.suzuka-ct.ac.jp)

電話等による可否の問い合わせはご遠慮ください。

（７）入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年6月6日（金）午後5時までに「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

（８）「推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い

「推薦による選抜」の結果合格しなかった者で「学力試験による選抜」を希望する者は、あらかじめ入学願書の「学力試験による選抜受験希望の有無」欄の「有」を選択しておくことにより、出願書類の再提出及び検定料の再納付をすることなく学力検査を受験することができます。（受験票は、推薦選抜の際に使用した受験票を使用します。学力による選抜試験当日は当該受験票を持参してください。）

(9) 入学手続

入学予定者あてに、令和8年3月頃通知します。

(10) その他の注意事項

- ① 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付又は郵送します。
この受験票は試験当日必ず持参してください。
- ② 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、ただちに、本校学生課入試係に受験番号及び氏名を明記のうえ届け出てください。

8 社会人特別選抜

(1) 出願資格

出願時において社会人としての経験を1年以上有する者で、次のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者
- ② 短期大学を卒業した者
- ③ 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者
- ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者

(2) 入学願書受付

期 間	令和7年4月30日（水）から5月2日（金）まで。 郵送の場合も5月2日（金）午後4時30分必着とします。
受付時間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

(3) 出願手続

- ① 検定料の振込（振込期間：令和7年4月23日（水）～5月2日（金））
出願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください（現金自動預払機（ATM）による振込は不可）。ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。
振込後、次の出願書類を願書受付期間中に持参又は郵送してください。

② 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の様式(社会人選抜用)に必要な事項を記入してください。
写 真 票	写真票に貼る写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景のものとしします。(縦4cm×横3cm)
受 験 票	受験票(社会人選抜用)の氏名欄は必ず自署してください。
調 査 書 1 (成績証明書)	本校所定の様式を使用し、出身学校長又は学長が作成したもの。成績証明書を添付すること。
調 査 書 2	本校所定の様式を使用し、志願者が作成したもの。
業 績 調 書	本校所定の様式(600字詰)に、次により本人が記入してください。企業在籍者及び企業退職者は、そこでの勤務業績。これ以外の者は、出身学校における業績(卒業研究等)の概要。
TOEIC (または TOEFL iBT) スコアの原本	出願2年以内に受験した、TOEIC公開テスト結果(Official Score Certificate)又はTOEIC IPテスト結果(Score Report), TOEFL iBT公式スコアレポート(Official Score Report)の原本。原本は、受験票送付の際に返還します。
受 験 承 諾 書	本校所定の様式を使用し、所属の長が作成したもの。(入学時に企業等に在職のまま入学し専攻科修了後、復職する者のみ提出してください。入学時に企業等を退職して入学する者は不要)
受 験 票 送 付 用 封 筒 (長3封筒)	志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、760円(速達・簡易書留郵便料を含む)切手を貼ったもの。 (願書を直接持参する場合は不要です)
そ の 他	日本国籍を有しない者は、市区町村長発行の外国人登録証明書(在留資格が明示されたもの)又は在留カードの写し(表・裏)を提出してください。

【出願上の注意事項】

- ア 出願書類を郵送する場合は、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、「書留郵便」又は「簡易書留郵便」で出願期間内に必着するよう手続きを行ってください。
- イ 出願書類に記入漏れ等の不備がある場合は受理しません。
- ウ 書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- エ TOEIC (または TOEFL iBT) スコアを除く受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- オ 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返金できません。
- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複して納付した場合
- 上記に該当する場合は、速やかに本校学生課入試係へ連絡願います。
- カ 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 選抜の実施方法

入学者の選抜は、出身校の調査書と勤務先等での業績調書の審査、面接試験の結果を総合して行います。アドミッション・ポリシーに則り、適正、意欲、人物及び専門基礎知識の観点から、書類の審査を120点満点、面接の結果を80点満点、合わせて200点満点で評価します。

(5) 面接試験日時及び場所

- ① 日 時 令和7年5月17日(土) 指定された時間
- ② 場 所 鈴鹿工業高等専門学校

(6) 合格者の発表

令和7年5月23日(金) 午前10時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載するとともに、同日、合格者あてに合格通知書を発送します。

(本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。)

ウェブページアドレス [https:// www.suzuka-ct. ac. jp](https://www.suzuka-ct.ac.jp)

電話等による合否の問い合わせはご遠慮ください。

(7) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年8月19日(火) 午後5時までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

(8) 「社会人特別選抜」に合格しなかった者の取扱い

「社会人特別選抜」の結果合格しなかった者で「学力試験による選抜」を希望する者は、あらかじめ入学願書の「学力試験による選抜受験希望の有無」欄の「有」を選択しておくことにより、出願書類の再提出及び検定料の再納付をすることなく学力検査を受験することができます。(受験票は、社会人特別選抜の際に使用した受験票を使用します。学力による選抜試験当日は当該受験票を持参してください。)

(9) 入学手続

入学予定者あてに、令和8年3月頃連絡します。

(10) その他の注意事項

- ① 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付又は郵送します。
この受験票は試験当日必ず持参してください。
- ② 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、ただちに本校学生課入試係に受験番号及び氏名を明記のうえ届け出てください。

9 学力試験による選抜

(1) 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者又は令和8年3月高等専門学校を卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者又は令和8年3月短期大学を卒業見込みの者
- ③ 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者又は令和8年3月専修学校の専門課程を修了見込みの者
- ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑥ その他、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると本校専攻科において認められた者

なお、機械工学科，電気電子工学科，電子情報工学科，生物応用化学科，材料工学科又はこれらと同等の内容の教育課程を履修している者が望ましい。

(2) 入学願書受付

期 間	令和7年6月3日（火）から6月6日（金）まで。 郵送の場合も6月6日（金）午後4時30分必着とします。
受付時間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

(3) 出願手続

- ① 検定料の振込（振込期間：令和7年5月30日（金）～6月6日（金））

出願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください（現金自動預払機（ATM）による振込は不可）。ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

振込後、次の出願書類を願書受付期間中に持参又は郵送してください。

- ② 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の様式（学力選抜用）に必要事項を記入してください。

写 真 票	写真票に貼る写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景のものとしします。(縦4cm×横3cm)
受 験 票	受験票(学力選抜用)の氏名欄は必ず自署してください。
調 査 書 1 (成績証明書)	本校所定の様式を使用し、在籍(出身)学校長又は学長が作成したもの。成績証明書を添付すること。
調 査 書 2	本校所定の様式を使用し、志願者が作成したもの。
TOEIC (または TOEFL iBT) スコアの原本	出願2年以内に受験した、TOEIC公開テスト結果(Official Score Certificate)又はTOEIC IPテスト結果(Score Report), TOEFL iBT公式スコアレポート(Official Score Report)の原本。 原本は、受験票送付の際に返還します。
受験票送付用 封筒 (長3封筒)	志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、760円(速達・簡易書留郵便料を含む)切手を貼ったもの。 (願書を直接持参する場合は不要です)
そ の 他	日本国籍を有しない者は、市区町村長発行の外国人登録証明書(在留資格が明示されたもの)又は在留カードの写し(表・裏)を提出してください。

【出願上の注意事項】

- ア 出願書類を郵送する場合は、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、「書留郵便」又は「簡易書留郵便」で出願期間内に必着するよう手続きを行ってください。
- イ 出願書類に記入漏れ等の不備がある場合は受理しません。
- ウ 書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- エ TOEIC (または TOEFL iBT) スコアを除く受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- オ 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返金できません。
- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複して納付した場合
- 上記に該当する場合は、速やかに本校学生課入試係へ連絡願います。
- カ 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 選抜の実施方法

入学者の選抜は、筆記試験(数学)、TOEIC スコア及び書類審査の結果を総合して行います。

① 筆記試験

数 学 (主な出題範囲は以下のとおりとする。)

微 分・・・一変数及び多変数の微分とその応用

積 分・・・一変数及び多変数の積分とその応用

微分方程式・・・常微分方程式

線形代数・・・ベクトルと図形、行列と行列式、複素数平面

基礎数学・・・方程式と不等式、場合の数、確率等

② 評価の方法

筆記試験（数学）及び TOEIC（または TOEFL iBT）スコアは、各 100 点満点で評価します。調査書 1，2 は、アドミッション・ポリシーに則り、適正、意欲、人物及び専門基礎知識の観点から 100 点満点で評価します。筆記試験（数学），TOEIC（TOEFL iBT）スコア及び調査書 1，2 の評価を合わせて 300 点満点で評価します。

なお、TOEIC および TOEFL iBT スコアの換算方法は以下に例示します。

TOEIC	290 以下	300	320	350	380	400	450	500	550	600	700	800	860 以上
TOEFL iBT	30 以下	32	33	36	39	40	46	52	57	62	76	88	98
換算点	0	13	28	44	56	60	65	70	75	80	88	96	100

（５）試験日時及び場所

① 日 時

期 日	区 分	時 間
令和 7 年 6 月 2 1 日（土）	数 学	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0

② 場 所

鈴鹿工業高等専門学校

（６）合格者の発表

令和 7 年 6 月 2 7 日（金）午前 1 0 時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載するとともに、同日、合格者あてに合格通知書を発送します。

（本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。）

ウェブページアドレス [https:// www.suzuka-ct.ac.jp](https://www.suzuka-ct.ac.jp)

電話等による可否の問い合わせはご遠慮ください。

（７）入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和 7 年 9 月 1 9 日（金）午後 5 時までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

（８）入学手続

入学予定者あてに、令和 8 年 3 月頃連絡します。

(9) その他の注意事項

- ① 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付又は郵送します。
この受験票は試験当日必ず持参してください。
- ② 受験上の注意は、受験票に記載していますが、その他の注意事項は当日試験場に掲示します。
- ③ 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、ただちに、本校学生課入試係に受験番号及び氏名を明記のうえ届け出てください。

10 追試験の実施について

(1) 受験資格

推薦による選抜，社会人特別選抜及び学力試験による選抜の志願者が，感染症等を理由とし，本試験を受験できない場合の対応として追試験を実施します。

① 追試験受験の申請対象者

追試験受験の申請対象者は次のいずれかに該当する志願者とします。

- ア. 学校保健安全法施行規則（昭和 33 年文部省令第 18 号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患，または罹患している疑いがある，もしくは月経随伴症状等の体調不良により本試験を受験できない者。
 - イ. その他，受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず，追試験の受験を申請した者で，校長がその申請を認めた者
- ※アに示す本試験を受験できない事由は，学校長等又は医療機関による証明等により，校長が確認するものとする。
- ※アに示す本試験を受験できない事由を認める期間については，施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

② 追試験受験の申請手続

本試験開始前までに本校学生課入試係へ欠席連絡のうえ追試験受験希望を申し出て，担当者から指示を受けてください。なお，本試験開始前までに連絡のない場合は，追試験受験の意思がないものとして取り扱います。

(2) 推薦による選抜及び社会人特別選抜における追試験

① 面接試験日時及び場所

日 時 令和 7 年 5 月 28 日（水）午後 3 時 30 分
場 所 鈴鹿工業高等専門学校

② 追試験の合格者発表

令和 7 年 5 月 30 日（金）午前 10 時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載するとともに，同日，合格者あてに合格通知書を発送します。
（本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。）
ウェブページアドレス [https:// www.suzuka-ct. ac. jp](https://www.suzuka-ct.ac.jp)
電話等による合否の問い合わせはご遠慮ください。

③ 入学確約書の提出

本試験と同様とします。

(3) 学力試験による選抜における追試験

① 日 時

期 日	区 分	時 間
令和7年7月19日(土)	数 学	10:30~12:00

② 場 所

鈴鹿工業高等専門学校

③ 追試験の合格者発表

令和7年7月25日(金)午前10時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載するとともに、同日、合格者あてに合格通知書を発送します。

(本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。)

ウェブページアドレス [https:// www.suzuka-ct. ac. jp](https://www.suzuka-ct.ac.jp)

電話等による合否の問い合わせはご遠慮ください。

④ 入学確約書の提出

本試験と同様とします。

1 1 先端融合テクノロジー連携教育プログラムの募集について

(1) 出願資格

本校専攻科の入学者選抜検査(推薦)の合格者のうち、本プログラムを希望し、所定の期日までに入学確約書を提出した者

(2) 出願手続

各自で行うこととなります。出願にあたっては、本校指導教員と十分相談のうえ、出願手続きを行ってください。なお、出願の意思がある場合は、入学確約書にその旨を記載のうえ提出してください。

(3) 選抜方法

入学者選抜は、豊橋技術科学大学において実施されます。詳細は豊橋技術科学大学ウェブページをご確認ください。

(4) その他

先端融合テクノロジー連携教育プログラム入学者選抜で不合格となった場合でも、本校専攻科推薦入試合格者は本校専攻科に入学することができます。

1 2 学位の取得について

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上にわたり62単位以上を修得し、大学改革支援・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士(工学)の学位を取得できます。

※ 大学改革支援・学位授与機構に所定の審査手数料を支払う必要があります。

特例による学位授与申請者は、高等専門学校毎に、その学科と専攻科において、申請する専攻の区分に応じて学位授与機構があらかじめ認定した「科目表」に記載されている授業科目の中から学位取得の要件を満たすように単位を

修得している必要があります。

そのため本校以外の高等専門学校からの入学者の方、本校学科を5年間で卒業していない方や本校学科を卒業後、専攻科入学までに期間があいている方については、特例適用での学位授与申請ができるかについて、学位授与機構による所定の審査があり、所属高専発行の単位修得証明やシラバスの提出が必要となります。

この審査の結果によっては特例による学位申請ができない場合があります。

なお、特例による学位授与申請ができない場合は、通例による学位授与申請となります。

1 3 個人情報 の 取扱い について

本校では、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

1 4 入試情報 の 提供 について

本校では、推薦、社会人及び学力による入学者選抜の入学願書受付期間中、適時入学願書の受付状況をウェブページでお知らせします。

1 5 入学者選抜 に関する 合理的配慮 の 提供 に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、学生、学生の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 出身高専等における支援状況に関する資料、6) 本人が自ら

の障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても 入試担当窓口（電話 059-368-1739）までご相談ください。

ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

1 6 その他

- （1）入学志願にあたって、出願資格、志望コース等で疑問がある場合は、学生課入試係にお問い合わせください。特に短期大学卒業者（見込みを含む）及び専修学校の専門課程修了者（見込みを含む）は事前に照会されることをおすすめします。
- （2）第2次募集を行うことがあります。詳細については、令和7年10月3日（金）以降に学生課入試係にお問い合わせください。

専攻科入学案内

1 教育課程

専攻科の教育課程は、教養科目、コース共通科目及び専門展開科目で構成されています。令和7年4月現在における本校専攻科の教育課程を次表に示します。

教養・コース共通科目

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
教養科目	必修	技術英語Ⅰ	1	1		
		技術英語Ⅱ	1		1	
		技術者倫理	2	2		
		国際関係論	2		2	
	小計	6	3	3		
	選択	経営学	2		2	2単位以上修得
		言語表現学特論	2		2	
		グローバル・リーダー論	2	2		
		英語表現論	2	2		
		海外語学実習Ⅰ	1		1	
		海外語学実習Ⅱ	2		2	
		海外語学実習Ⅲ	3		3	
		小計	14	4	4	
	コース共通科目	必修	代数学特論	2	2	
数理解析学			2	2		
環境保全工学			2	2		
信頼性工学			2	2		
応用情報工学			2	2		
センサ工学			2		2	
物性工学			2		2	
小計			14	10	4	
選択		物理学特論	2	2		
		生命工学	2		2	
		インターンシップⅠ	1	1		
		インターンシップⅡ	2	2		
		国際インターンシップⅠ	2	2		
		国際インターンシップⅡ	4	4		
		長期海外インターンシップ	12	12		
		実践工業数学Ⅰ	1	1		
		実践工業数学Ⅱ	1	1		
		特別講義	2	2		
小計		29	14	2		
			13		開講しないことがある。	

専門科目

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考		
			1年次	2年次			
専門展開科目	必修	総合イノベーション工学輪講	2		2		
		総合イノベーション工学実験	2	2			
		特別研究Ⅰ	8	8			
		特別研究Ⅱ	8		8		
		小計	20	10	10		
	コース必修	海洋環境学	2		2	環境・資源コース	同時開講科目
		次世代エネルギー工学	2		2	エネルギー・機能創成コース	
		実践メカトロニクス	2		2	ロボットテクノロジーコース	
		小計	6	0	6		
	選択	非破壊検査工学	2	2		2単位以上修得	8単位以上修得
		有機化学特論	2	2			
		材料物理学	2	2			
		電気理論特論	2	2			
		流体力学特論	2	2		環境・資源コース 4単位以上修得	
		移動現象論	2	2			
		エネルギー移送論	2		2		
		分子生命科学	2	2			
		有機材料工学	2		2	エネルギー・機能創成コース 4単位以上修得	
		生体機能工学	2		2		
		環境科学特論	2		2		
環境調和材料		2		2			
制御機器工学		2	2		ロボットテクノロジーコース 4単位以上修得		
エネルギー移送論		2		2			
分子生命科学		2	2				
移動現象論		2	2				
材料強度工学		2		2	環境・資源コース 4単位以上修得		
生体機能工学		2		2			
環境科学特論		2		2			
環境調和材料		2		2			
IoTシステム特論	2		2	ロボットテクノロジーコース 4単位以上修得			
電子材料特論	2		2				
制御機器工学	2	2					
流体力学特論	2	2					
材料強度工学	2		2	環境・資源コース 4単位以上修得			
有機材料工学	2		2				
IoTシステム特論	2		2				
電子材料特論	2		2				
小計	32	16	16				
教養科目（必修）開設単位数		6	3	3			
教養科目（選択）開設単位数		14	4	4			
			6				
コース共通科目（必修）開設単位数		14	10	4			
コース共通科目（選択）開設単位数		33	14	2			
			17				
専門展開科目（必修）開設単位数		20	10	10			
専門展開科目（コース必修）開設単位数		6	0	6			
専門展開科目（選択）開設単位数		32	16	16			
開設単位数合計		125	57	45			
			23				
修得単位数		62単位以上	教養科目		必修	6単位	
					選択	2単位以上	
			コース共通科目		必修	14単位	
					必修	20単位	
					コース必修	2単位	
			選択	8単位以上			

2 学士の学位の取得

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上にわたり62単位以上を修得し、大学改革支援・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士（工学）の学位を取得できます。

※ 大学改革支援・学位授与機構の審査手数料・・・32,000円

3 入学時に必要な経費（予定額）等

費目	金額	備考
入学料	84,600円	入学手続き時に納入
授業料	117,300円	年額234,600円の前期分
教科書代	約30,000円	

※1 上記の他、教育後援会会費（前期分15,000円（変更予定）及び入会金10,000円）、傷害共済会費（1年分500円）、日本スポーツ振興センター保護者負担金（1年分1,550円）、諸経費積立金（12,500円）等が必要です。

※2 在学中に授業料改正が行われた場合には、新授業料を適用するスライド制が導入されます。

※3 専攻科生は学寮に入寮することはできません。

4 入学料・授業料の免除（高等教育の修学支援新制度）

政府は、意欲ある子供たちの進学を支援するため、「授業料・入学金の減免」と、「返還を要しない給付型奨学金」の大幅拡充により、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校を無償化する方針を決定しました。世帯収入の基準を満たしていれば、成績だけで判断せず、「学ぶ意欲」があれば支援を受けることができます。また、給付型奨学金の対象となれば、大学・専門学校等の授業料・入学金も免除又は減額されます。

5 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の納付が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度等があります。

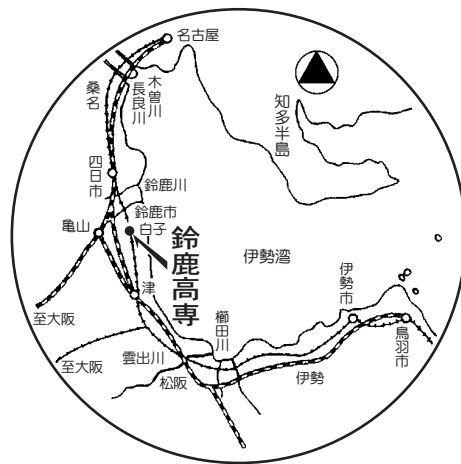
6 修了後の進路実績

専攻科修了後の進路は、大学院への進学又は就職となります。近年は、大学院への推薦入学制度が整備され、進学希望者も増えています。また、就職する学生に対しては679社（令和6年度）もの企業から求人をいただいています。

【過去3年間】

進学先	就職先	
(国立)	旭化成(株)	(株)デンソー
東北大学大学院	(株)アットマークテクノ	(株)東海テクノ
筑波大学大学院	天野エンザイム(株)	東芝インフラシステムズ(株)
千葉大学大学院	出光興産(株)	(株)ドコモ CS 東海
東京科学大学大学院	(株)インターネットイニシアティブ	(株)トヨタシステムズ
東京農工大学大学院	UBE マシナリー(株)	トヨタ自動車(株)
名古屋大学大学院	N T Tコムエンジニアリング(株)	(株)トヨタプロダクションエンジニアリング
名古屋工業大学大学院	NTT ビジネスコミュニケーションズ(株)	
豊橋技術科学大学大学院	(株)NTT フィールドテクノ	西日本電信電話(株)
三重大学大学院	(株)荏原風力機械	日東電工(株)
大阪大学大学院	(株)オートテックジャパン	日本アエロジル(株)
九州大学大学院	カゴメ(株)小坂井工場	伯東(株)
北陸先端科学技術大学院大学	キヤノンデータシステムズ(株)	パナソニック(株)くらしアプライアンス社
奈良先端科学技術大学院大学	クラウドエース(株)	パナソニックインダストリー(株)
	グローブライド(株)	
(公立)	サントリースピリッツ(株)	(株)日立社会情報サービス
東京都立大学大学院	ジャパンリソグラフィック(株)	ファナック(株)
	(株)ジェイテクト	(株)FIXER
	住友電装(株)	(株)F U J I
	(株)セゾン情報システムズ	(有)保坂精機
	ダイキン工業(株)	三菱重工業(株)
	千代田化工建設(株)	森永乳業(株)
	T H K(株)	(株)LIXIL

学校の位置図および交通機関



検査場までの交通案内

- ・ 近鉄名古屋線白子駅下車，
三重交通バス白子駅西口から
平田町行又は鈴鹿サーキット
行に乗車約10分，東旭が丘
3丁目下車，徒歩約7分

求める志願者像

- (1) 科学技術の発展に寄与する意欲のある人
- (2) 自らの向上をめざして継続的に自己学習を行う意欲・適性のある人
- (3) 論理的に物事を考える適性を持つ人
- (4) 豊かな想像力を持ち、何事にも積極的に挑戦する意欲・適性のある人
- (5) 広い視野を持ち、将来、国際社会で活躍する意欲・適性のある人

入学試験に関する問い合わせ、出願書類の請求先

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

学生課 入試係

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739 (学生課入試係)

FAX 059-368-1738

<https://www.suzuka-ct.ac.jp>